

# Noto PLUS

「行政」「人」「地域の魅力・価値」を「プラス」でつなぐ情報誌

広報のと No. 77  
2011.7.1

# 7



広報のと 第77号

平成23年7月1日発行

発行・能登町 編集・広報情報推進課  
〒927-0492 石川県鳳珠郡能登町字出津新1字1-9-7番地1

TEL: 0768-62-1000  
FAX: 0768-62-1000  
URL: <http://www.town.noto.jp>  
Eメール: [info@town.noto.jp](mailto:info@town.noto.jp)



自然と農業とガーデン。  
そこはまるで、夢あふれる絵本の世界

# ケロンの 小さな村

Proud!  
Japan

東日本大震災の復興を支援しよう

# のこと ふうど

のはぎが撮る母、  
となみさんの料理と家族のおはなし

写真・文中 乃波木

第7回 梅サワードリンク



梅サワードリンクの材料

- ・梅
- ・殺物酢
- ・水砂糖（もしくは蜂蜜）

毎年夏になると、母・十七波さんの陶房が梅の香りで満たされる一日があります。いくつもの瓶を並べ、琥珀色の飲み物を作っていくこの日は、ここは梅酒工場のように梅と瓶で賑わいます。梅というのは、もの凄い食べ物です。梅酒に梅ジュース、梅ジャム、梅干し、梅酢、梅醬油と、家で作れるだけでも幾種類もの飲料や調味料と変化し、クエン酸で私達の健康を支えます。

この日、作っているのは「梅酒」と「梅サワードリンク」というお酢の入った酸味のあるジュースです。夏の暑さの中、ドロドロに濃くなった血液をサラサラにするような、爽やかな味わいをもつ梅サワードリンクは、ひと夏で何本も飲んでしまいます。夏の体には欠かせない美味しさのこの飲み物は、夏が終わると不思議と欲さなくなります。そして、じんわりとホット梅酒が飲みたい季節がやってきます。

せっせと毎年始めるこの梅ドリンク作りの間は、十七波さんは終止無言で、梅と語らうような顔でひと瓶ひと瓶作っていきます。

昔から、何かを作っている時の十七波さんは、無言といえれば無言なのですが、真顔とはちがって、少し微笑むような顔で手を動かしていきます。料理をしている時も、手紙を書いている時も、粘土をこねている時も、何か面白いことがあるかのような顔で楽しそうに手を動かします。

何に微笑んでいるのか不思議だったその姿が、野菜や手紙を送る相手や、粘土と語り合っているように見えてきたのは、私が写真を撮るようになってからのこととです。

もしかしたら私も、撮りたいものとして対話するような思いで撮っている時、楽しそうに微笑んでいるのでしょうか。そうあればいいなと思いますが、おそらくは逆にこわい顔になっているような気がします。

無自覚の微笑みをもって何かを作れるようになるのは、もっと自分に余裕ができてからのことと言いつつながら、今年もサワードリンクの甘さと酸っぱさを、夏の香りと共に飲み干しています。



中乃波木（なかのはぎ）  
昭和54年、東京生まれ。13歳の時に母親と共に旧柳田村へ越し、中学の二年半を過ごす。その時の感動が忘れられず、東京造形大学写真学科へ入学後から能登の写真を撮り始め、卒業後は広告制作会社の写真部を経て独立。能登を撮りだして10年目の平成19年12月に初の写真集『Noto』を出版（FOIL刊）。現在は能登で暮らしたころのエッセー「大波小波」を季刊誌『能登』で掲載するなど活動の幅を広げている。母、十七波（となみ）さんは陶芸家として能登町柳田で陶房「眠兎（とうぼうみんと）」を構え、19年目となる。

「広報のと」7月号の印刷費は一部当たり33円です。